

# 垂井町都市計画マスタープランへの位置づけ

町が取り組むこととして、以下のように位置づけています。

「地区計画等の制度を用いて、地域コミュニティ維持のための新たな手法導入について検討」



都市計画の手法を用いて

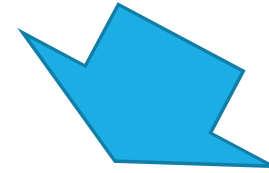
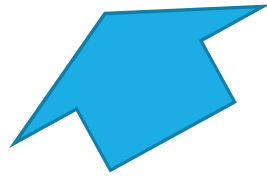
地域の現状や課題に対応していく必要があります。

現在の課題がこのままだと…

人口減少  
少子高齢化の進行



空き家・空き地の増加  
耕作放棄地等の増加



地域コミュニティの存続危機  
地域の魅力低下

今と比べて生活環境が悪化する恐れがあります。

これらの課題に少しでも対応するためには…

将来も、今の暮らしを維持できるように

ルールの範囲内で

新たな住宅や生活に必要な店舗等の建築を可能にする

## 「きめ細やかな土地利用制度」

を検討する必要があります。

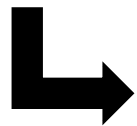
## 地域の課題

市街化調整区域の強力な規制

人口減少や少子高齢化の進行等の問題

地域の将来への不安

これら地域の課題に対し、都市計画の中で何ができるか…



住宅の建設を目的とした

## 『地区計画』(既存集落型)

の制度を活用できないかと考えました。

市街化調整区域における地区計画(既存集落型)の取組は、全国的に事例が少なく、県内では初の試みです。